

在南ア日本大使館
領事がつづる

南アフリカ通信

Vol. 29

文・写真◎新保 剛



2010年のワールドカップ開幕まで、あと128日。
開催国の南アのことをよく知らない人も多いだろう。
現地在住の日本大使館領事から届くこのコラムで
生の南アフリカを見て、知って、本大会に備えよう!

ワールドカップの開催地には、日程上、日本代表がプレーする可能性がないところが2つある。今回はその一つ、ネルスプリットを紹介しよう。市名の綴りからネルスプロイトと表記される場合があるが、現地の発音はネルスプリットに近い。

南ア北東部で国境に近いところにある。南回帰線に近く、標高が800メートル程度のため、内陸部であるが暖かく、柑橘類の栽培が盛んで、市郊外ではレモンなどの果樹園を見ることができ。

この都市はまた、大型野生動物を見るサファリツアーの基地でもある。ゲーム・リザーブと呼ばれる私立の自然公園内では、専門のガイドがサファリカーで昼寝をしているライオンや、食事中の象にギリギリまで近づいて見せてくれる。2泊3日で園内のロッジに泊まり、朝晩に動物を見るのが一般的だ。ガイド、食事、宿泊料金が含まれるため料金は高めたが、一見の価値はある。

特筆すべきはクルーガー国立公

●「ネルスプリットでは野生動物見学を楽しもう」●



▲クルーガー国立公園内で朝食中の象。5メートルの至近距離まで接近することができたとか

園。こちらは四国ほどの面積がある広大な自然公園で、入場者は自分の車で移動しながら動物たちを探すのだが、園内には道路以外の人工物がほとんどなく、安全のため、指定された場所以外では車から降りられない。時間が経つにつれ、人間が車に閉じこめられている感じがしてくるから不思議だ。なお、大型野生動物は危険な存在でもある。安全のためレンジャーの説明には注意を払ってほしい。W杯の試合会場は新設のムボンベラ・スタジアム。外観はキリンの群れをイメージして設計され、座席シートはシマウマのゼブラ模様が施されている。サファリツアーの中心地にふさわしいデザインだ。冬でも暖かいが、夜はそれなりに冷えるので、コートは持参した方が良さそう。スタジアムは市街地からだいぶ離れた郊外にあるので、観戦には車が必要だ。また、当地にはW杯の観客数に見合うだけのホテルはないので、観客の多くはヨハネスブルグなどから飛行機かバスで日帰り観戦をすることになる。バスを使えば片道4時間あまり。覚悟が必要だ。

隣国のモザンビークまでは100キロ、スワジランドまでは60キロ離れているが、日帰りドライブは可能だ。また、60キロ南西には温泉もある。水着持参で楽しむことができる。

著者プロフィール ●一等書記官兼領事。06年より在南ア共和国日本大使館に勤務。業務の1つに在留邦人と日本人旅行者の安全対策がある。2010年のワールドカップに向け、日本人旅行者に安全情報を発信する

外務省海外安全ホームページ <http://www.pubanzen.mofa.go.jp> 在南アフリカ日本大使館 http://www.za.emb-japan.go.jp/index_jp.html